

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 04-01-01	事務事業名 妊産婦・新生児訪問指導事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	------------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	妊産婦へ家庭訪問の上適切な指導・相談・助言を行い安心して出産・育児にのぞむことが出来るよう支援するとともに、子育て支援に関する情報提供や、親子の心身の状況や養育環境等の把握及び助言を行う。また、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的とする。 母子保健法(訪問指導)、児童虐待防止法(こんにちは赤ちゃん事業)の両法律に基づき実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等/補助の概要 ：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 市内に居住地を有する妊産婦、また里帰り中の生後4か月までの乳児のいる全ての家庭が対象。母子健康手帳交付時に配布している出生通知票等の連絡により、訪問指導員または市保健師が訪問し、母子の健康状態の確認、新生児の体重測定、育児に関するアドバイス等を行う。訪問結果については月1回症例検討会を開催しアセスメントを行い、継続支援が必要な場合は担当保健師によるフォローを行う。平成23年度より、産後のメンタルヘルス対策のため、訪問時にエジンバラ産後うつ評価票(E PDS)を導入する。(予算:4.1.3.15)	
事業開始時期 9 年度 実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()		

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		8,325	7,841	8,532	12,375
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		6,003	4,989	6,048	6,580
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		2,322	2,852	2,484	5,795
所要人員(B)	人	0.23	0.23	0.23	0.23
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,878	1,858	1,858	1,878
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	10,203	9,699	10,390	14,253
単位当たりコスト(E)=(D)/(出生数)	千円	6	6	6	8

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 出生数	実績値 人	1,663	1,597	1,683	1,900
② 訪問実数	実績値 人	1,467	1,525	1,555	1,900
《指標の説明・数値変化の理由 など》 【訪問実数】3～4か月児健診前までに訪問指導員及び常勤保健師が行った訪問の実数					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 常勤訪問率(実数)	目標値 %	10	10	10	10
	実績値 %	8.7	10.2	11.3	
二	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 【常勤訪問率】訪問実数のうち常勤訪問実数の割合。常勤は今後もフォローが必要と考えられるケースを訪問する。目標値は利用する評価票の文献での値(フォローが必要と考えられるケースの出生数に対する割合)					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	3～4か月児健診時のアンケートより話をきいてもらえてよかった、心配なことや不安が解消した等、肯定意見が多数を占めている。上子のいる家庭からは、忙しく時間の都合を合わせづらい。等
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 新生児訪問率 ⇒ 平成20年度：東京都51.7%・市部54.5%・西東京市87.0%(2位) ⇒ 平成21年度：東京都60.8%・市部60.9%・西東京市97.1%(1位) エジンバラ産後うつ評価票の導入、症例検討会で質向上に取り組んでいる。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 04-01-01	事務事業名 妊産婦・新生児訪問指導事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	------------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>こんにちは赤ちゃん訪問は全数(100%)訪問を目標とする国の推奨事業である。西東京市では常勤保健師や訪問指導員(助産師及び保健師)が家庭に訪問している。現在訪問率は高い水準を保っており、これを維持するためには引き続き市が主体となって事業を実施する必要がある。</p> <p>平成23年度より、EPDS(エジンバラ産後うつ評価票)を取り入れることにより、母親のメンタルヘルスや育児に関する状況や気持ちなどのハイリスク要因を把握することができ、早期支援が行えるよう体制を整えていく。EPDSの実施にあたっては、今後検討し見直しをしながら実施していく必要が考えられる。</p> <p>3~4か月児健診のアンケートに赤ちゃん訪問に対する意見を記載する欄を設け、市民の事業に対する率直な意見を聞くことが出来る。</p> <p>・平成21年度新生児訪問率は都内で1位であった。</p>
	事業の必要性	3		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方の相手方	3		
	事業内容等の適切さ	3		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	3		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>国基準では必ずしも保健師、助産師が訪問しなければならないというものではないが、本市では事業立ち上げ当初から保健師、助産師があたっている。専門家による質の高いきめ細やかな指導を実施中での高い訪問率は評価できる。本事業で未訪問となった家庭にもフォローがなされていることからすると、ほぼ100%把握がなされていると推測できる。今後は、EPDSの導入に当たって更なる検証を深め、母子の健康増進と児童虐待防止に一層資することを期待する。</p>
	事業の必要性	3		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方の相手方	3		
	事業内容等の適切さ	3		
	受益者負担の適切さ	1		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 04-01-02	事務事業名 母子健康教育相談事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	---------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	最近の核家族化等による家族構成の変化や地域連帯意識の希薄化による育児機能の低下、育児不安の増大等に対し、きめ細やかな教育相談の提供を行い、母子保健の推進を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 妊婦及び乳幼児とその保護者を対象に、①ファミリー学級(平成9年度)②育児相談(平成14年度)③1歳児お誕生相談会(平成21年度)④2歳児すくすく相談会(平成20年度)⑤発達・養育フォロー教室(平成14年度)等を設け、育児教育及び母子に係る相談や支援を成長や発達段階に合わせて実施する。1歳6か月児健康診査が平成21年度から医科、歯科とも個別健診となったため、健診会場で併設実施していた教育相談事業を③、④で実施 (予算：4.1.3.16母子健康教育相談事業費)	
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		5,730	8,959	8,669	23,616
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	1,164
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		5,730	8,959	8,669	22,452
所要人員(B)	人	3	3.52	3.52	3.52
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	24,495	28,442	28,442	28,741
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	30,225	37,401	37,111	52,357
単位当たりコスト(E)=(D)/(母子健康教育相談総回数)	千円	208	246	258	354

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①ファミリー学級延定員組数	実績値 組	1,512	1,008	868	896
②母子健康教育相談総回数	実績値 回	145	152	144	148
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
・ファミリー学級は定員28組 平成20年度3回×18コース、平成21年度2回×18コース、平成22年度より2回×16コース ※平成22年度は地震のためファミリー学級1回、その他教育事業3回が中止となった。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 ファミリー学級参加率	目標値 %		69.4	70.2	89.4
	実績値 %	69.4	70.2	89.4	
二 母子健康教育相談利用延人数	目標値 人		4,008	4,761	4,877
	実績値 人	4,008	4,761	4,877	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
ファミリー学級参加率：平成21年度より土曜開催の回数を増やし、平成22年度から全コース2回中1回を土曜開催とした。参加率は定員に対する参加の割合。母子健康教育相談利用延人数：平成21年度は新規事業立ち上げにより利用人数が増加。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	ファミリー学級は事業実施後のアンケートで満足度が高く、コースの年間実施回数を増やしてほしいとの意見も多い。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 内容や事業は各市違いがあるが、同様の事業を実施している。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ①ファミリー学級⇒産科病医院 ②育児相談⇒保育園・地域子育て支援センター等 ③発達・養育フォロー教室⇒発達支援センターひいらぎ

事業コード 04-01-02	事務事業名 母子健康教育相談事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	---------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	2	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービスの 相手方	2	
	事業内容等の 適切さ	3	
	受益者負担の 適切さ	3	
C	市民ニーズの 把握	3	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	2	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービスの 相手方	2	
	事業内容等の 適切さ	2	
	受益者負担の 適切さ	2	
C	市民ニーズの 把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 04-01-03	事務事業名 がん検診事業（結核検診事業含む）	所管部課 市民部 健康課
-------------------	---------------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容：胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、喉頭がん、前立腺がんの検診を実施。なお、国が平成21年度から、無料クーポン券を配付し、女性特有のがん（乳がん・子宮がん）の受診率向上を図る補助事業を新たに実施した。実施方法としては、1. 集団検診（①胃がん(30歳以上)②肺がん(40歳以上)）、2. 個別検診（①子宮がん(20歳以上偶数年齢)②乳がん(40歳以上偶数年齢)③喉頭がん(40歳以上)）、3. 集団・個別①大腸がん(40歳以上)②前立腺がん(50～74歳で偶数年齢)）で実施している。個別検診は医師会に委託している。（予算：4.1.3.5がん検診事業費）	
事業開始時期	昭和57 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他（ ）

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		121,012	150,057	147,636	192,944
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	22,770	11,384	19,783
地方債	千円	0	0	0	0
その他（ ）		0	0	0	0
一般財源		121,012	127,287	136,252	173,161
所要人員(B)	人	1.8	1.8	1.6	1.6
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	14,697	14,544	12,928	13,064
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	135,709	164,601	160,564	206,008
単位当たりコスト(E)=(D)/(集団検診実施延べ日数)	千円	1,475	1,266	1,327	1,585

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 集団検診実施延べ日数	実績値 日	92	130	121	130
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 集団検診実施延べ日数は、集団検診で実施している胃・肺・大腸・前立腺のがん検診実施日数の合計とした					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一次 全がん検診受診人数	目標値 人	40,007	40,000	41,723	49,710
	実績値 人	35,682	41,723	41,091	
二次 乳がん検診受診率	目標値 %	50	50	50	50
	実績値 %	19.3	21	22	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 乳がんは死亡率の上昇が続いており、自己触診と検診受診による早期発見が求められている。受診率は都が精度管理のために算出方法を定めており、比較が可能。受診率(%)：受診者数÷(対象年齢人口×対象人口率)×100 注：22年度は速報値					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	乳がん・前立腺がん検診の対象年齢の拡大や、胃カメラによる胃がん検診の希望が市民から電話等で寄せられる。医師会より、胃がん検診、肺がん検診について国の指針に基づく検診方法に対して見直しの意見が出ている。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 国が推奨する胃・子宮・乳・肺・大腸がん検診を受益者負担なしで実施している市は平成22年度6市である。独自に喉頭がん・前立腺がん検診を実施しているのは2市のみ。7つ全てを無料実施しているのは西東京市のみである。医師会とがん検診事業検討会を設け受診率、質向上を図っている。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 国民健康保健加入者の人間ドック利用者への補助は、平成20年度で終了した。企業の福利厚生や個人的にがん検診を受けることはできる。

事業コード 04-01-03	事務事業名 がん検診事業（結核検診事業含む）	所管部課 市民部 健康課
-------------------	---------------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>本事業については、国が対策型検診として推奨する胃・子宮・乳・肺・大腸がん検診と、市が独自に実施している胃がん検診の30～39歳（22市年齢拡大実施）、喉頭がん検診（3市実施）、前立腺がん検診（10市実施）がある。対策型検診では検診精度を管理する基準が定められているが、ほぼ基準に従い実施できている。また、医師会とがん検診事業検討会を設置し、対策型検診とともに毎年事業の評価、改善を行い、がんの早期発見に積極的に取り組んでいる。</p> <p>乳がん検診は平成21年度の受診率は21%で、都（平均受診率14.4%）や国（14.7%）より高いが、国が目標とする検診受診率50%には届かず、更に受診率を向上させる必要がある。</p> <p>西東京市ではがん検診を全て受益者負担なしで実施している。国は受診率を上げる為に、女性特有のがん検診として乳がん・子宮がん検診、及び大腸がん検診について節目対象者に無料クーポン券を配布する補助事業を平成21年度より開始しており、国の動向に留意する必要があるが、受診率の向上を図りながら、がん検診事業を持続可能とするためには受益者負担の導入についても検討する必要がある。</p> <p>【26市の平成21年度受益者負担導入状況】 胃がん検診：9市、子宮がん検診：9市、乳がん検診：20市、 肺がん検診：9市、大腸がん検診：9市</p>
	事業の必要性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	2	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	3	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	1	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>受診率の向上についてはこれまでも努力されているが、効果が上がっていないのが実情である。受益者負担を求めることは受診率を更に下げるとい見方もあるようだが、他市において受益者負担を求めている所でも受診率が下がったという報告は無いと聞いている。一部負担金を求めることも検討されたい。</p>
	事業の必要性	3	<input type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	1	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 04-01-04	事務事業名 乳児健康診査事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	-------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	実施方法としては、集団方式により保谷保健福祉総合センターで年間28回実施している。なお、平成21年度から市民の利便性に考慮し、BCGと同日実施としている。また、会場は1会場となるため、バスによる送迎を実施している。 また、実施内容については、医師による健康診査及び保健指導、各種専門職員による集団指導(オリエンテーション・栄養・歯科)と個別相談(心理・栄養・保健・母性・理学)、身体計測、産婦健診などを行なっている。 (予算：4.1.3.18乳児健康診査事業費)	
事業開始時期	9 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		24,637	26,056	24,334	33,691
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	180
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		24,637	26,056	24,334	33,511
所要人員(B)	人	0.43	0.43	0.43	0.43
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	3,511	3,474	3,474	3,511
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	28,148	29,530	27,808	37,202
単位当たりコスト(E)=(D)/(受診者数)	千円	17	19	17	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①実施回数	実績値 回	34	32	30	28
②通知者数	実績値 人	1,716	1,584	1,708	1,900
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
①実施回数:健診実施回数(BCGとの同日実施を可能にするため医師を1名増員したことによる効率的な流れの確立に伴い、実施回数の見直しを行った)②通知者数:健診対象者に発送した通知の数(対象者数の変動に併せ実績値は変動する)					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 受診者数	目標値 人	1,544	1,533	1,700	1,700
	実績値 人	1,662	1,572	1,683	
二 受診率	目標値 %	90	90	90	90
	実績値 %	96.9	99.1	98.5	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
・[受診者数]生後3か月以上5か月未満に受診した者/[受診率]受診者数/対象者数 ・BCGとの同日実施としたことにより、市民の利便性が増し受診率が上がった。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	BCGとの同日開催は便利で良い。色んな職種に相談に乗ってもらえよかった。医療機関や地域の情報など知ることができよかった(転入者)。迷いながら育児をしていたがねぎらいの言葉をかけてもらい気持ちが落ち着いた...など。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 母子保健法に基づく事業で実施基準が定められており、また、健診回数も毎年見直しをしているため、同規模の自治体と大きな差は見られない。BCGとの同日実施開催の効果もあり、受診率は高水準を保っている。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 04-01-04	事務事業名 乳児健康診査事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	----------------	-----------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>健康診査は疾病や異常の早期発見の機会として、さらに疾病などの発生予防のための保健指導に結びつける機会として重要で、法で体系化が図られている。</p> <p>集団で行う健診は受診者の発達状況だけでなく、養育状況を把握する場となり、必要に応じた市内での支援体制につなげることもできる。健診未受診者の中にはネグレクトなどの子ども虐待が把握されることもある。集団健診は誰もが受診する事業であり、構えることなく自然な形で必要に応じた支援体制をとっていきける。そのため、要保護・要支援対策の取り組みを行っていく上で、乳児家庭全戸訪問事業後初めの健診を市で直営で行っている意味合いは深く、その後の市とのかかわりを築く上でも継続していく必要がある。</p> <p>また、市民の利便性を踏まえ、段階的に健診回数の見直しを行ってきたが、受診率の向上と併せ未受診者（未来所者）について、ほぼ全員の動向が把握できている。そのため、事後の対応の対策もとれるようになっている。</p> <p>・西東京市健康づくり推進プランでの受診率の目標値は90%以上現状維持としている。また、21年度の都平均受診率は96.1%で何れも上回っている。</p> <p>・健診受診者のうち、何らかの所見を指摘された者の割合は市28.1%、都31.3%で50%タイルに入っており、健診の質も保たれていると考えられる。</p>
	事業の必要性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	3	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	3		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>受診率は高率を維持しており、また未受診者のフォローもされていることから、受診率で判断することよりも受診者の中から事業目的である「健康を阻害する因子・障害を早期に発見し、適正な医療・回復の援助につなげる」点についての実態把握、検証を深める努力を期待する。また、母子保健センターの廃止に伴い創設された連絡便は、年間100万円を超える経費となっているにもかかわらず、利用率が低く、一部の路線のみの運行という点においても公平性・効率性が問われる。運行廃止も含め検討されたい。</p>
	事業の必要性	3	<input type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 04-01-05	事務事業名 1歳6か月児健康診査事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	-----------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	1歳6か月児に対し健康診査を実施し、生活習慣や栄養等適切な指導を行い、疾病の早期発見のみならず幼児の健康の保持増進、保護者への育児支援を図る。	根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	かかりつけ医の定着を促すことを目的に、平成17年度から医科健診、平成21年度から歯科健診が委託による個別実施となる。対象者全員に対し受診券を配布し、指定歯科医療機関に個別に予約を取り、1歳6か月～2歳になる前々日の期間で受診する。 受診票の診察所見に基づき個別フォローを行っている。(予算：4.1.3.22 1歳6か月児健康診査事業費)	
	事業開始時期	昭和52 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		16,933	19,777	19,175	23,278
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		16,933	19,777	19,175	23,278
所要人員(B)	人	1	0.27	0.27	0.27
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	8,165	2,182	2,182	2,205
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	25,098	21,959	21,357	25,483
単位当たりコスト (E)=(D)/(通知数)	千円	16	12	13	14

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①通知数	実績値 件	1,562	1,794	1,638	1,800
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 通知数:健診対象者に発送した通知数					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 医科健診受診率	目標値 %	90	91.2	90	90
	実績値 %	91.2	87.2	89.9	
二 歯科健診受診率	目標値 %	90	90	90	90
	実績値 %	88.5	70.9	78.7	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 医科・歯科健診受診率:受診者/対象者×100/歯科健診に関しては平成21年度より個別健診となり初年度の受診率は低かったが、平成22年度は前年度の実績を踏まえ奨励・フォロー体制を歯科医師会と検討し実施したため、受診率が上がった。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	自分の予定に合わせ受診できる。かかりつけ医で受診できるため行きやすい。指定医療機関外で受診したい(かかりつけ医が指定医療機関に入っていない場合)。個別に予約を取るより集団健診の方が受診しやすい。個別健診だと一般の人と一緒に落ち着かない…等。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 集団方式で行っている自治体が多く、26市の中で医科・歯科共に個別実施している自治体はない。都内でみると、江東区のみが実施している。受診率に関しては、江東区と同等レベルである。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 04-01-05	事務事業名 1歳6か月児健康診査事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	-----------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>母子保健法に基づき実施している事業であるが、市民の利便性を高めるため内科・歯科共に個別健診実施となった。集団健診でないため結果に応じた事後フォローの電話や未受診者への勧奨等、電話または他事業でのフォロー体制をとっている。しかし、事後フォローが必要な場合には勧奨の連絡時につながりにくい現状がある。集団健診と異なり、健診の際タイムリーに育児支援につながる個別相談へとつなげていきにくい。</p> <p>また、1歳6か月児健診のフォロー事業として、1歳児お誕生相談会・2歳児すくすく相談会を開催し個別相談等の育児支援につなげており、併せて1歳6か月児健診の受診勧奨を行うことで、受診率向上に努めている。</p> <p>定期的に市内医師会、歯科医師会と検討会を実施し、実績向上を図っている。今後も他機関・他事業と連携をとりながら継続的に実施していく。</p> <p>受診率は集団健診での実施時より低下し、21年度の都平均より下回っているが、かかりつけ医をつくるきっかけとなっている。</p> <p>「健康づくり推進プラン」では受診率90%以上の維持を指標としている。</p>
	事業の必要性	3		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方の相手方	3		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	3		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>かかりつけ医の定着を促すことを目的に、集団健診から個別健診に移行したと認識しているが、歯科健診受診率が改善したとはいえ依然として低いことが課題である。指定医療機関にかかりつけ医が入っていないとの市民意見があるように、個別診療にも多くの課題が見受けられる。26市の中で内科・歯科共に個別実施している自治体は無いとの事なので、個別実施とした事による費用対効果について、検証する必要がある。</p>
	事業の必要性	3		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方の相手方	2		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 04-01-06	事務事業名 3歳児健康診査事業費	所管部課 市民部 健康課
-------------------	---------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	身体発育及び精神発達の面から重要な時期である3歳児に健康診査を実施することにより、健康を阻害する因子・障害を早期に発見し、適正な医療・回復の援助につなげるとともに、保護者への相談を通じて育児支援を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等/補助の概要:補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 実施方法は、集団方式で保谷保健福祉総合センターで年30回実施。実施内容としては、医師による健康診査(内科・歯科・視力・聴覚)、保健指導及び心理相談を行い、各種専門職員による集団指導(オリエンテーション・保健・栄養・歯科)と個別相談(心理・栄養・保健・歯科等)、身体計測を実施している。内科診察は医師会の医師2名と、大学病院の医師1名で行っている。 (予算:4.1.3.23 3歳児健康診査事業費)	
事業開始時期	9 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		13,256	12,899	12,677	13,939
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		1,510	1,361	1,363	1,486
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		11,746	11,538	11,314	12,453
所要人員(B)	人	0.3	0.3	0.3	0.3
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,450	2,424	2,424	2,450
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	15,706	15,323	15,101	16,389
単位当たりコスト(E)=(D)/(受診者数)	千円	11	11	11	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①開催回数	実績値 回	30	30	29	30
②通知者数	実績値 人	1,565	1,595	1,568	1,700
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
①開催回数⇒年間の開催回数 / ②健診実施のために通知を発送した対象者数 *平成22年度に関しては震災の影響により実施回数が予定より1回減となっている					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 受診者数	目標値 人	1,408	1,476	1,411	1,547
	実績値 人	1,449	1,394	1,430	
二 受診率	目標値 %	90	90	90	90
	実績値 %	92.6	87	91	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
①受診者数⇒3歳から4歳未満までの年齢で当該年度に受診した人数 ②受診率⇒受診者/対象者					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	集団健診だが個別相談ではじっくり話を聞いてもらえよかった。上の子の時より流れがスムーズになったが、もう少し待ち時間が短くなるとういと思うが、検査内容も多いので仕方ないかなとも感じる。健診で診察してくれた先生がよかったので紹介してもらいたい(転入者)。地域の情報が教えてもらえよかった(転入者)…等
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 母子保健法に基づく事業で実施基準が定められており、各市で同様のサービスを提供しており、受診率もほぼ同レベルである。受診者全員が視能訓練士による視力検査を行っていることは当市の特色の一つである。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 04-01-06	事務事業名 3歳児健康診査事業費	所管部課 市民部 健康課
-------------------	------------------	-----------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>3歳児健診は就学前の最後の法定健診となっている。個別実施している1歳6か月児健診後に受診者の発達状況や養育状況を把握することにより、必要に応じた市内における支援体制につなげることができる。</p> <p>集団健診は誰もが受診する事業であり、構えることなく自然な形で必要に応じた支援体制をとっていきける。そのため、要保護・要支援対策の取り組みを行っていく上では、個別での1歳6か月児健診後に直営での健診を行う意味は深く、今後も他機関・他事業との連携に配慮しながら継続実施すべきと考える。</p> <p>保谷保健福祉総合センターで実施し、これまでも医師会・歯科医師会等と調整しながら開催回数の見直しを行っている。回数の見直しがサービスの低下につながらないよう、健診内容・人の流れ等に配慮している。</p> <p>「健康づくり推進プラン」での受診率の指標は90%以上現状維持としている。平成21年度の都平均受診率は89.6%だが、当市は上回っており、ほぼ達成できているといえる。</p> <p>都の平均有所見率27.6%と比べると、市は24.6%でやや低いが、50%タイル以内にある。</p>
	事業の必要性	3		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方	3		
	事業内容等の適切さ	3		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	3		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>前回の行政評価（二次評価）において、1受診者当たりの経費が11千円と高い事が、改善取組みとして指摘されているが、いまだに改善されていない。内容分析とともにコストの見直しに一層努力されたい。また本事業は、要保護・要支援の観点からも非常に重要な事業であることに留意し、有所見率の検証と他機関との連携を密に実施されたい。</p>
	事業の必要性	3		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方	2		
	事業内容等の適切さ	3		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 04-01-07	事務事業名 妊婦歯科健康診査事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	---------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	対象者全員に対し、妊娠届出時(母子健康手帳発行時)に案内と受診券を配布する。委託による個別方式での実施で、指定歯科医療機関に個別に予約を取り受診する。実施内容は、歯科健康診査・歯科保健指導(ブラッシング指導 他)。 (予算：4.1.3.13妊婦歯科検診事業費)	
事業開始時期	9 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		3,680	4,104	4,327	4,971
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		3,680	4,104	4,327	4,971
所要人員(B)	人	0.02	0.02	0.02	0.02
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	163	162	162	163
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	3,843	4,266	4,489	5,134
単位当たりコスト(E)=(D)/(受診券配布数)	千円				
		2	2	2	3

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①受診券配布数	実績値 人	1,736	1,827	1,802	1,900
②実施歯科医療機関数	実績値 件	92	90	90	90
《指標の説明・数値変化の理由 など》 受診券配布数⇒妊娠届出数(母子手帳発行時に案内配布)					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 受診者数	目標値 人	1,388	1,461	1,441	1,520
	実績値 人	533	597	626	
二 受診率	目標値 %	80	80	80	80
	実績値 %	30.7	32.7	34.7	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 ①受診者数⇒受診券使用者数 平成14年度は集団方式で年12回実施(受診者数214人)。平成15年度より個別方式に変更(受診者数376人)					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	かかりつけ医が市外のため指定医療機関外でも受診できるとよい。子ども連れで受診でき助かった等。(ファミリー学級参加者より)
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 集団方式で実施している自治体は26市中22市と多いが、個別方式の方が受診者数が高く、平成15年度より個別方式へ変更した効果が現れている。平成21年度集団方式実施市の平均利用者135人、個別方式実施市の平均利用者513人
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 04-01-07	事務事業名 妊婦歯科健康診査事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	------------------	-----------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	3	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービスの 相手方	2	
	事業内容等の 適切さ	3	
	受益者負担の 適切さ	3	
C	市民ニーズの 把握	3	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	3	
	事業主体の 妥当性	3	
B	直接のサービスの 相手方	2	
	事業内容等の 適切さ	2	
	受益者負担の 適切さ	3	
C	市民ニーズの 把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 4-1-8	事務事業名 乳幼児歯科相談事業	所管部課 市民部 健康課
----------------	--------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	個別歯科医療機関への受診が困難な子ども、歯および口腔の健全な発達に必要な保健行動が困難な子どもとその保護者について、歯科健診・歯科保健指導（歯みがき指導）および栄養、育児相談を含めた育児支援の機会をつくる。本事業の利用から、歯科受診に慣れ、地域の歯科医療機関へつながるよう支援し、乳幼児の口腔健全な発育発達を促す。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 1歳前後から3歳頃までの乳幼児で個別歯科医療機関への受診が困難な子ども、歯および口腔の健全な発達に必要な保健行動が困難な子どもとその保護者を対象に実施。保谷保健福祉総合センターで年24回実施。内容⇒健康教育・歯科健診・歯科保健指導（歯みがき指導）・身体計測、個別相談（栄養・育児・心理）。平成21年度より乳幼児期にかかりつけ医を定着させる方針のもと、[乳幼児歯科相談]から[お口の健康支援室]として、希望者から受診が困難な子ども等へ対象者を限定しての実施となった。（予算：4.1.3.21乳幼児しか相談事業費）	
事業開始時期	9 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他（ ）

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		9,876	1,480	1,164	3,068
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		1,125	156	252	257
地方債	千円	0	0	0	0
その他（ ）		0	0	0	0
一般財源		8,751	1,324	912	2,811
所要人員(B)	人	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	817	808	808	817
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	10,693	2,288	1,972	3,885
単位当たりコスト(E)=(D)/(利用者数)	千円	3	2	3	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①開催回数	実績値 回	114	48	24	24
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
開催回数⇒歯科相談室またはお口の健康支援室の実施回数／【歯科相談室】は身近な地域でかかりつけ医を持っていただくことを推進していくため、平成21年度より【お口の健康支援室】として変更し実施することになった。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 利用者数	目標値 人	3,420	1,440	720	720
	実績値 人	3,943	1,497	679	
二 かかりつけ歯科医有の割合	目標値 %	60	60	60	60
	実績値 %	26.9	30	38.4	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
利用者数の減少は、かかりつけ歯科医を推進するために対象者を変更したことによる。利用者数は年間延べ利用者数。目標値は開催回数×予定人数。 かかりつけ歯科医を持つ者の割合の目標値は3歳児の東京都歯科保健目標とした。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	歯医者さんでは口をあけられなかったが、じっくり見てもらえ口をあけられるようになった。歯の診察だけでなく身長・体重をはかってもらえたり、個別の相談にものってもらえよかった。歯みがき指導を丁寧にしてもらえた…など。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 実施方法・回数等は自治体により異なる部分もあるが、歯科相談事業はどの自治体でも行っている事業である。当市の場合、平成21年度から1歳6か月児健康診査の完全個別化に伴い、お口の健康支援室はセイフティネットの意味合いも兼ね備えた事業である。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 他の母子事業・歯科医師会との連携が必要

事業コード 4-1-8	事務事業名 乳幼児歯科相談事業	所管部課 市民部 健康課
----------------	-----------------	-----------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>乳幼児期からかかりつけ歯科医を定着させる方針のもと、平成21年度より従来の[乳幼児歯科相談]から[お口の健康支援室]へと事業の見直しを行った。しかし、乳幼児期は歯科医療機関での受診が難しい子どももいるため、この事業は他事業(乳幼児健診・相談会)および歯科医師会と連携しながら実施している。</p> <p>また、同時期に1歳6か月健診が個別健診となり、かかりつけ医での健診受診が難しい場合の健診フォロー事業ともなっており、健診のセイフティネットの意味合いも兼ね備えており、市民サービスとして必要な事業となっている。</p> <p>開催回数・利用者数に関しては、市民に無理なく・混乱なく事業形態を移行していくために段階的に回数・対象者の見直しを行ったため経年経過の変動が大きくなっているが、かかりつけ医の定着とあわせ事業の方針・目的に沿った利用者層になった。</p> <p>今後も他事業・歯科医師会と連携して、継続実施していく必要がある。</p>
	事業の必要性	3		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方の相手方	2		
	事業内容等の適切さ	3		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	3		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>乳幼児歯科相談事業からお口の健康支援室事業へと見直しされたことから、経年変化を一概に利用者数の推移で比較することは出来ない。かかりつけ医の定着を促進している中で、受診困難な子供への対応として本事業の必要性・重要性を明確にしていくことが肝要である。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	2		
B	直接のサービスの相手方の相手方	2		
	事業内容等の適切さ	1		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 04-01-09	事務事業名 休日診療事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	-----------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	<input type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	休日診療所を中町分庁舎と市内医療機関2か所(輪番制)にて実施している。中町分庁舎休日診療所診療時間は、午前10時から午後9時まで。医療機関診療時間は、(病院)午前9時から午後10時まで、(医院)午前9時から午後5時まで。 歯科休日診療は各医療機関にて2か所にて実施。受付時間は午前10時から午後4時まで。 (予算：4.1.3.1休日診療事業費)	
事業開始時期	合併前から 年度 実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()	

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		78,844	84,858	76,173	75,730
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		18,902	18,902	18,902	18,902
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		59,942	65,956	57,271	56,828
所要人員(B)	人	0.08	0.08	0.08	0.08
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	653	646	646	653
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	79,497	85,504	76,819	76,383
単位当たりコスト(E)=(D)/(受診者数(医科))	千円	10	8	9	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 延べ開所日数(医科)	実績値 日	295	295	291	291
② 延べ開所日数(歯科)	実績値 日	72	72	71	71
《指標の説明・数値変化の理由 など》 開所日数					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 受診者数(医科)	目標値 人				
	実績値 人	8,253	11,351	8,249	
二 受診者数(歯科)	目標値 人				
	実績値 人	540	538	530	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 指標説明：休日診療の受診者数 平成21年度の受診者数の増加は、新型インフルエンザの流行によるもの。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	委託をしている西東京市医師会から小児科など内科以外の診療科目の患者の対応に苦慮しているとの意見があがっている。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 医科：固定性10市、輪番制14市、固定・輪番制2市 歯科：固定性13市、輪番制10市、未実施3市
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 平日準夜小児初期救急医療(4市共同事業) 多摩北部医療センター(東村山市)、佐々病院(西東京市)

事業コード 04-01-09	事務事業名 休日診療事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	-----------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>市民の生命と健康を守るための施策であり、市民にとって重要な役割を果たしている。また、休日や準夜間における初期救急医療は、市民が安心して生活をするために、必要不可欠な施設である。ただし、急患患者の応急医療を行うため事業であり、救急医療体制とは異なる。</p> <p>医科は、輪番実施のため診療科目が変わり小児専門医が常備できない課題があり、これを4市共同の小児初期救急医療事業にて補っている。歯科は、近年、準夜間や休日に診療を行う歯科診療所が増加傾向にある。</p>
	事業の必要性	2		
	事業主体の妥当性	3		
B	直接のサービスの相手方の相手方	3		
	事業内容等の適切さ	2		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>合併以来、固定制と輪番制の1市2制度のままの運用が継続されてきている。前回の行政評価結果において、真に求められる診療科目の検討、実施回数、実施場所について指摘がされているが、改善は見られない。特に歯科医については、1日平均利用者数は3人程度となっており、費用対効果を考えると市の休日診療事業として、今後も継続実施していく必要性は低いと言える。利用者の利便性等を考慮しつつ、見直しを図りたい。</p>
	事業の必要性	3		
	事業主体の妥当性	1		
B	直接のサービスの相手方の相手方	3		
	事業内容等の適切さ	1		
	受益者負担の適切さ	3		
C	市民ニーズの把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	